

「論文作成」のための特別講座 練習問題 3

問題 「情報化社会とわたしたちの生活」について、あなたの考えを 4 0 0 字以上 6 0 0 字以内で書きなさい。

「論文作成」のための特別講座 練習問題3 解説

典型的な「論文型小論文」の「テーマ型」である。

「題意」は、「情報化社会」の意味と、「自分の生き方」を書くことである。

必要な、論文内容は、次のような項目である。展開順は、違ってよい(段落分けすること)。

第1段 「社会的文脈」の「引用」

第2段 「問題提起」＋「判断」(結論)

第3段 「根拠」

第4段 まとめ(「判断」の反復 or 「提案」)

このような「テーマ型」の場合は、論じる方向と、範囲は、自分の知識に頼るしか方法がない。「情報化社会」のどのような側面を取り上げるかで、内容は大きくかわる。

「情報化社会」のテーマで使われる典型的なキーワードには、次のようなものが考えられる。

情報、マスメディア、IT革命、情報通信技術、コンピュータ、携帯電話、GPS、インターネット、メール、LINE、フェイスブック、嘘の情報、個人情報、人権侵害、知る権利、表現の自由、便利、危険、個人発信、匿名性、メディアリテラシー、オンライン・ショッピング、電子マネー、クレジットカード、プリペイドカード、ETC、ICOCA(ICカード)、POSシステム、ウィルス、セキュリティなど

第1段の「社会的文脈」にふれるところで、自分が論じる内容を、限定しておく必要がある。例えば、情報化社会の便利さを取り上げて、経済的な活動の効率化に果たす情報通信技術を取り上げる。あるいは、より安心・安全な社会をつくるための情報網の整備、世界中の人々との情報交換から知識を豊かにする手段としての利用方法を書くなど。

第2段の「問題提起」には、情報化により生じる危険性を指摘することが重要である。第1段で取り上げた内容に関する問題点(危険性)を書くことがポイントになる。「判断」で、それに対する自分の主張・結論で「自分が取り組む行動」を説明するといいい。

第3段の「根拠」に、最も多くのスペースを割き、自分の主張を裏付ける具体的な社会的事実を指摘する(解決方法に必要な知識を説明する)ことができれば、評価は高くなる。

ちなみに、「情報」そのものを話題にする場合は、メディアリテラシーが重要論点になる。自分がどのようにその力を着けるべきかを論じる必要がある。あるいは、メディアリテラシーを培うための必要条件は何か、可能な条件は何かを検討することができれば高得点になる。

次に、技術的な側面では、情報管理の安全性・セキュリティが重要な論点であろう。高速性を追求することも論点になる。より簡単で安全なシステム構築をどうするかも論点になる。

解決方法と実現可能な「課題」を提案できるような「テーマ」を選択するのが、得策である。プロットを作成する段階で、自分の書ける「テーマ」をしっかりと考えることと、自分の経験や知っていることで勝負すること。